

② 後藤勇吉生誕の碑



③ 戦前の防火壁



④ 大瀬川の展望



5 延岡城跡



JR延岡駅～川中地区周辺の
川のせせらぎや町の歴史を辿る かわ・まち散策



距離
約**5**km

所要時間
約**2**時間



7 そういんこうくようひ
僧胤康供養碑



8 疊堤



9 水神さん



10 河川敷の散策路



五ヶ瀬川の河川敷に降りると、歩く風景も一変します。

JR 延岡駅～川中地区周辺の 川のせせらぎや町の歴史を辿る かわ・まち散策

延岡ウォーキングマップ



延岡駅を起点・終点にした、
約5kmコース(所要時間約2時間)
延岡の隠れた魅力満載の
川歩き・街歩きコースマップです！



見どころ紹介

1 山下新天街アーケード

全長330m、県北地区最大の全蓋型アーケードです。「山下」の文字をデザイン化したシンボルマークは、昭和49年の大改修時に募集したものです。今山八幡宮の鳥居は大正15年に建立されました。



2 後藤勇吉生誕の碑

延岡市出身、日本初の一等操縦士・飛行士です。大正13年に9日間連続で4,000Kmを飛行し、日本一周飛行に初めて成功しました。太平洋横断飛行を目にした昭和3年、訓練中に佐賀県の山中で墜死。その功績を偲び、毎年慰霊祭が行われます。



3 戦前の防火壁

南町、宮崎銀行延岡支店駐車場の脇にひっそり残る、コンクリート製の防火壁です。昭和20年、この周辺は延岡空襲で甚大な被害を受けました。

4 大瀬川の展望

「鮎やな」とは、川を堰き止め竹のスノコで造った「おてす」に鮎を誘い込む伝統漁法。300年以上の伝統を誇る延岡の鮎やなは、規模・漁獲量ともに日本最大級です。旭化成の煙突を借景に鮎の瀬掛け漁の川舟が行き交う安賀多橋周辺の風景は、延岡らしい魅力に溢れます。



5 延岡城跡

延岡城は慶長6(1601)年、初代延岡藩主の高橋元種が3年を費やして築城しました。城への侵入を防ぐ、高さ22mの「千人殺しの石垣」(石垣が崩れると1,000人を殺す仕掛け)は迫力満点。現在、本城跡は城山公園として、市民の憩いの場となっており、日本3大ヤブツバキ群といわれる3,300本ものヤブツバキも自生しています

6 亀井神社

学問の神様・天神様と、内藤家の祖先を守る古木や自然豊かな神社です。慶長19(1614)年、時の城主有馬直純公が城の守護神として大宰府から菅原道真公を祀る天満宮をお迎えし、当初は天満神社でしたが、延岡城の別名「亀井城」にちなんで亀井神社になったと伝えられます。

7 そういんこうようひ 僧胤康供養碑

延岡市北方町曾木子にある慈眼禅寺(じげんぜんじ)の僧・胤康(いんこう)を偲んで建てられた石碑です。当時、胤康は勤皇の志をもって、倒幕と日本の改革を志していましたが、反幕府思想のため捕えられ、無念の獄中死をとげました。それから2年後、胤康が夢見た天皇親政の明治政府が樹立しました。

8 畳堤

延岡市には複数の川が合流しており、大雨時には水位が上がって市街地が洪水の危険にさらされます。昭和初期に造られた五ヶ瀬川の畳堤は、洪水時に畳堤の隙間に家庭の畳を差込むことで、町を水害から守ってきました。畳堤は全国に3ヶ所しかない貴重な遺構で、かつては五ヶ瀬川、大瀬川沿いに2,000mもの畳堤がありましたが、今では亀井橋下流沿いに980mを残すのみです。



Nobeoka walking map

9 水神さん

延岡市の河川堤防沿いには、川への感謝と恐れを表れから数多くの水神様が祀られており、古来より水神様とともに過ごす延岡市民は、畏敬の念を込めて「水神さん」と呼んでいます。延岡市内を流れる五ヶ瀬川、大瀬川、北川、祝子川等の周辺に点在する水神様は、現在までに98ヶ所の所在が分かっています。



水神様マップ(国土交通省)

10 河川敷の散策路

五ヶ瀬川と大瀬川にはさまれた川中地区には、五ヶ瀬川と大瀬川の分流地点からJR鉄道橋までに、全長約11kmの周回散策路があります。300本の河津桜と100万本の菜の花に囲まれる初春の「延岡花物語」には多くの人が訪れるほか、自然豊かな散策路沿いでは1年中、散策やジョギング、川遊び、写真撮影などが楽しめます。



天下一五ヶ瀬かわまち創ろう会 回遊できる散策路部会

延岡ウォーキングマップは、五ヶ瀬川かわまちづくりの取組みの一環として、市民と行政で組織された回遊できる散策路部会が作成しています。マップに関するお問い合わせは、下記事務局までお願いいたします。

五ヶ瀬川かわまちづくり事務局
延岡市 都市建設部 土木課 Tel:0982-22-7021
国土交通省 延岡河川国道事務所 流域治水課
Tel:0982-31-1155 (代表)